



トットリズム県民運動 ワクワク月間

9月10日～10月31日

みんなでつくる! トットリの元気

鳥取県内では県民一人一人、またNPO、地域づくり団体、企業、青年団体など、さまざまな主体が愛着ある地域をより良く、元気にしていこうという活動「トットリズム県民運動」が各地で展開されています。より多くの皆さんに、これらの活動に触れ、興味を持ってもらうことを目的として、9月10日から10月31日までを「トットリズム県民運動ワクワク月間」としています。月間を機に地域づくり活動やイベントに参加するなどして、一緒に地域を元気にしましょう!

地域づくり団体の活動を紹介



捕らえられた獣の処理の仕方を学ぶ

有害鳥獣狩猟、料理や革細工も

琴浦町を中心に活動する里山保全団体。イノシシやシカなど有害鳥獣の狩猟による駆除、狩猟者育成を目的に2017年、発足した。月数回集まり、先輩猟師に技術を学んだり、情報共有したりと、積極的に動いている。畑を荒らされ困り果てた農家から喜ばれることが何よりのやりがいになる。農業は地域を支える産業の一つ。地域住民が農業に対するやる気をなくしてしまわないことは地域づくりにつながるはずだ。

狩猟免許を持っていても活動していない人が多く、かといって個人で技術を磨くことも難しい。「団体で活動することで、そうした人たちが動けるきっかけになれば」と代表の高橋龍太さん(28)。

生き物の生死に直面する狩猟そのものや、シカ肉などジビエへの抵抗がある人も少なくない。だからこそ「何か楽しめることにも取り組もう」と活動の幅を広げているのがこの団体の「らしさ」。ジビエ料理の振る舞いしかり、革細工や角を使ったアクセサリー作りしかり。それらを携えて、イベントにも出向く。

「せっかくチームになれたのだから、大人数で楽しむことも大事にして、長く活動したいと考える。その結果、狩猟もジビエも地域に欠かせない存在になっていってほしい」と願っている。

月間中のイベントはこれでチェック!

鳥取県の地域づくり活動とイベント紹介冊子を発行

県ととっとり県民活動活性化センターは、月間中のイベントや地域づくり団体の活動などを紹介する情報冊子「響かせようトットリズム♪みんなでつくる! トットリの元気」(A5判、カラー32頁)を発行した。県庁舎、県立施設、市町村などの公的機関のほか、飲食店、理美容室、道の駅などで無料配布している。読者アンケートの回答者の中から、抽選で10人に記念品をプレゼントする。県(参画協働課)ホームページでも閲覧できる。htps://www.pref.tottori.lg.jp/tottorism/



「鳥取砂丘の名所」住民と発信

山・池・湯・山・活性化委員会
飼牛明委員長

活動エリア
鳥取市福部町
浜湯山地区



鳥取砂丘の見どころの一つ「多鯉ヶ池」の魅力を発信するため、2015年に発足。景観保全を兼ねて、地元遊休農地を整備し「子ども農園」として開放したり、池でイベントを展開するなど、地域の活性化につな

70代の25人程度が活動の主体を担う。昨秋、鳥取市福部町浜湯山地区の農家を中心に、30

子ども農園は、老若男女が農作物を育て、収穫の喜びを分かち合う住民交流の場となった。4月には別の遊休農地をハス畑にした。小麦やビザの具となる野菜を栽培する「ピザ農園」の整備を計画。設置し、自給食材でピザ作りを体験できる場をつくりたいと考えている。「子どもからお年寄りまで、住民が楽しめることに取り組んでいきたい」と飼牛委員長(70)。住民を巻き込んだ活動のアイデアを温めている。

「共生の森」「共生の里」事業

企業と地域が協力、森林や農地を守り育てる

月	活動名	実施地域
9月	鳥取県トラック協会	伯耆町
10月	山陰合同銀行	三朝町
10月	NTTドコモ中国支社	伯耆町
10月	日本通運	日南町
10月	損保ジャパン日本興亜	琴浦町
10月	損保ジャパン日本興亜	琴浦町
10月	人形峠環境技術センター	三朝町
10月	安全等連絡協議会	三朝町

月	活動名	実施地域
10月	鳥取銀行	智頭町五月田地区
10月	伯耆地区郵便局長会	日野町菅原地区
10月	サントリーホールディングス	江野町御机地区
10月	山陰酸素グループ	鳥取市東郷地区
9~10	旺方トレーディング	鳥取市佐治町永戸地区
9~10	因幡地区郵便局長会	若桜町小船地区
9~10	東京海上日動火災保険	三朝町東小島地区
9~10	三井住友海上火災保険	鳥取市気高町下地区

住民交流促進し地域の活気に

ふれあいの郷
かあら山
福間寿秋会長

活動エリア
大山町高麗地区



世代を超え、わらべ唄で交流する

旧保育所を活用し、軽食を提供する交流サロンをはじめ、高齢者の健康対策、子ども向けイベントなど多彩な事業を展開。住民交流を促進し地域の活気づくりに貢献している。大山町高麗地区(10集落)の自治会代表らが2012年12月に組織を立ち上げた。地域内外の幅広い世代が気軽に立ち寄り、出会いの輪を広げることができる交流拠点「ふれあいの郷かあら山」を開設。13年4月には住民が集い、多様なサービスや活動で互いに支え合っている。

「若者世代や子どもを意欲的に育てたい」と意気込む事務局の磯崎つばきさん(37)。視線の先にあるのは、地域の次代を担うつづき

トットリズム推進補助金による支援
地域をより良くしようとする地域住民や活動団体などが取り組む地域づくり活動に対し助成

トットリズム県民活動活性化センター(愛称・トット)による支援
地域づくり活動、NPO活動、ボランティア活動に係る組織運営や資金調達など、さまざまな相談に対応するとともに、若者や企業の社会貢献活動への参画を推進